

2023年9月3日(36週目)主日礼拝

「教会と時代を生かす重職者たち」(使徒 18:1-11)

○1923年9月1日に関東大震災が発生してから100年が経過した。10万人以上の方が命を失った。大地震が起こるところは、伝道が出来ない時に災いが起こる。教会が立ち上がり、伝道する時に災いが終わるようになる。教会が、何のために歩むべきかを分かると恵みを受けるようになる。

- 1) 女の子孫であるキリストがサタンを踏み砕く(創世記3:15)。信仰の先祖たちは、創3:15の契約をかたく信じた。
 - 2) 教会-世界福音化-教会を通して、サタンの国を潰して世界福音化をする。約束を信じるのが教会である。
 - 3) 共に-24時-伝道を味わっていく方法は、神様が共におられることを味わうことである。24時間、神様が共におられることを味わうように。
- 7つのやぐらの祈り:393の祈り、空中の権威を持つサタンを打ち砕く、5つの力・3つの庭・CVDIPを味わう祈りをする。
- このような力を味わっている内に、人々が生かされるようになってくる。

1.出会い(チーム)	2.代表的な重職者たち	3.答え
<p>▲チームで伝道することが出来るように</p> <p>1)使徒 16:10(パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニアに出かけることにした。神が私たちを招いて、彼らに福音を宣べさせるのだと確信したからである。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パウロと数人でアジアを伝道しようとしたが、門が閉ざされた。 ・ルカとチーム伝道した時にマケドニアの門が開かれた。 ・ルカはマケドニアに精通していた ・チームで伝道していく時に門が開く <p>2)使徒 18:2(アクラというポイント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。クラウデオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命令したため、近ごろイタリアから来ていたのである。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AD49年にローマ皇帝が、ローマ以外の人を退去させるように命じた。 ・プリスキラ・アクラはローマから退去 ・コリントでパウロは、プリスキラ・アクラに出会うようになる。 ・チーム伝道する時に伝道運動が起こる ・一人では伝道出来ないで、チームで共に伝道することが必要である。 <p>3)使徒 18:7(そこを去って、神を敬うテテオ・ユストという人の家に行った。その家は会堂の隣であった。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テテオ・ユスト(ガイオ)はローマ人 ・ガイオは、地域で影響力のある人物 ・ガイオが生かされるようになった。 	<p>▲聖書の中で代表的な重職者たちがいた。</p> <p>1)ローマ 16:3-4(キリスト・イエスにあって私の同労者であるプリスカとアクラによろしく伝えてください。この人たちは、自分のいのちの危険を冒して私のいのちを守ってくれたのです。この人たちには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリスキラとアクラは、ローマ教会だけでなく全ての教会に献身をした。 ・プリスキラとアクラを通して、伝道運動が起こるようになった。 ・妻のプリスキラが、アクラよりもより多くの献身をした。 <p>2)使徒 18:18(パウロは、なお長らく滞在してから、兄弟たちに別れを告げて、シリアへ向けて出帆した。プリスキラとアクラも同行した。パウロは一つの誓願を立てていたので、ケンクレヤで髪をそった。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パウロが遣わされる前に、プリスキラ・アクラが現場を開拓した。 ・プリスキラとアクラは伝道の為のビジネスした(天幕作り)。ビジネスが大きく栄えた。 <p>3) I コリ 16:19(アジアの諸教会がよろしくと言っています。アクラとプリスカ、また彼らの家の教会が主において心から、あなたがたによろしくと言っています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教会がプリスキラとアクラの家であった。 <p>4) II テモ 4:19(プリスカとアクラによろしく。また、オネシポロの家族によろしく。)</p> <p>5)ローマ 16:23(私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと言っています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教会の経済を担当するガイオがたてられた。 ・ガイオは、コリントで影響力のある人物であり教会の家主の働きをした(教会の世話役をした)。 ・教会を強くするために、ガイオのように強い人物がたてられるように。 ・私達と主任牧師の出会いが、パウロと重職者たちの出会いである。 ・コリントは栄えた都市であったが、墮落した街でもあった。 ・しかし、コリントで最高の重職者がたてられるようになった。 ・日本もコリントと似た国であるが、コリントのように最高の重職者がたてられるように。 ・強い重職者がたてられることによって大きな答えを受けるようになる。 	<p>▲神様が答えを与えられるようになった。</p> <p>1)使徒 18:9-10(ある夜、主は幻によってパウロに、「恐れないで、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから。」と言われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教会が強くなれば、全てがついてくる。 ・日本には、救われる人がたくさんいる。 ・約束を掴む時に働きはなされていく。 <p>2)使徒 18:11(パウロは、一年半ここに腰を据えて、彼らの間で神のこトバを教え続けた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パウロはコリントで1年半の伝道をした。 ・重職者がいたので強い教会が建てられた。 <p>▲結論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時神が共におられる ・7つのやぐらの祈り

現場地教会(2023年9月3日～2023年9月9日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに來られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまへり、かしこより來たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「教会と時代を生かす重職者たち」(使徒 18:1-11)

【讚美】 271 豊かな実りの時はきた

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン

御座の祝福を 味わう (3・9・3 契約の 祈り)	【吐いて】主は生ける神の御子キリストです。 【吸って】いま神の御霊で満たしてください。 【吐いて】御言葉の力が臨まれますように。 【吸って】キリストの御霊で満たしてください。 【吐いて】3つの呪いを解決する力が臨まれますように。 【吸って】助け主聖霊様で満たしてください。 【吐いて】聖霊様の力が臨まれますように。 【吸って】3つの超越の力で満たしてください。 【吐いて】御座の祝福・時空間を超える 237 の光の力が臨まれますように。 【吸って】3つのいのちで満たしてください。 【吐いて】神の形・いのちの息・エデンの園の祝福が臨まれますように。 【吸って】3つの空前絶後の祝福で満たしてください。 【吐いて】空前絶後の私・教会・タラントが回復されますように。 【吸って】3つの時代の祝福で満たしてください。 【吐いて】牧師・重職者・レムナントの時代を味わう祝福をください。
契約の祈り (主日礼拝)	
お知らせ	1、237 の庭 3、日本伝道集会 10月3日～4日
<h2 style="text-align: center;">福音宣教教会</h2> <p style="text-align: center;">主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00</p>	